

10月の市制施行20周年記念献立
～郷土の偉人「間宮林蔵」～
間宮林蔵ゆかりの地 北海道稚内市～
献立：ソフト麺、牛乳、稚内市産ほっけのザンギ、じゃが芋のサラダ、林蔵鍋、
ハスカップゼリー
Aブロック：10月27日（火） Bブロック：10月13日（火）

10月のテーマは「間宮林蔵」です。
つくばみらい市に住んでいれば、一度は聞いたことがありますよね。
「間宮林蔵」はすごい人なんです。今月の市制施行20周年記念献立のメニュー
とともに、つくばみらい市の偉人「間宮林蔵」について学んでいきましょう。

メニュー①「林蔵鍋」



【間宮林蔵はどんな人？】
間宮林蔵は、今から200年以上前の1780年、常陸国筑波郡上平柳村（現つくばみらい市上平柳）で生まれました。小さい頃からとても頭が良く、「神童」と呼ばれた探検家です。
林蔵は1799年から蝦夷地（今の北海道）を中心に、20年近く北の土地を詳しく調べ、大活躍しました。その中で特に有名なのが、樺太（今のサハリン）が島であることを突き止め、大陸との間の海を発見したことです。
林蔵が見つけた海は、後にシーボルトが書いた本の中で「間宮海峡」と名付けられ、世界中に知られることになりました。間宮林蔵は、世界地図に自分の名前が残っている、ただ一人の日本人だと言われている。本当にすごい探検家ですね！

【林蔵鍋】
林蔵の名がついた「林蔵鍋」は林蔵がよく食べたと言われる鮭と市内産の野菜がたっぷり使われた味噌味の鍋です。今回は特別にソフト麺と合うようアレンジを加えました。



メニュー②「稚内市産ほっけのザンギ」

今月の市制施行20周年記念献立に使用されるほっけは「稚内市産」です。
稚内市と間宮林蔵のつながりを知っていますか？
実は、稚内市は樺太（サハリン）へ渡る際に出発地点となった市で、市内にある「宗谷岬」には間宮林蔵の立像が建てられるほどゆかりのある土地なのです。

【稚内市産ほっけのザンギ】
ザンギとは北海道で生まれたソウルフードです。
ザンギは、揚げる前にしょうゆ、しょうがなどのタレに長くつけた唐揚げです。中まで味がしみこんでいて、ご飯がすすむ味付けになっています。



メニュー③「ハスカップゼリー」

間宮林蔵が探検した樺太（サハリン）は、ハスカップが自生する地域です。ハスカップは樺太やシベリア、北海道などの寒い地域に育つ果物で、北海道の自然や食文化を代表する果物として親しまれています。見た目はブルーベリーに似ていますが、それより酸味が強く、さわやかでキリッとした味が特徴です。

【ハスカップゼリー】
ハスカップの果汁を使い、学校給食でも食べやすいよう甘酸っぱい味わいと豊かな風味が感じられるように仕上げたゼリーになっています。



～間宮林蔵クイズ～

- 第1問 林蔵が得意な科目は？
①音楽 ②算数 ③国語
- 第2問 つくばみらい市に間宮林蔵の立像は何体ある？
①1体 ②2体 ③3体
- 第3問 林蔵はどこの地図を作った？
①四国 ②北海道 ③九州



第1問②算数、第2問②2体(間宮林蔵記念館・伊奈小学校)、第3問②北海道